

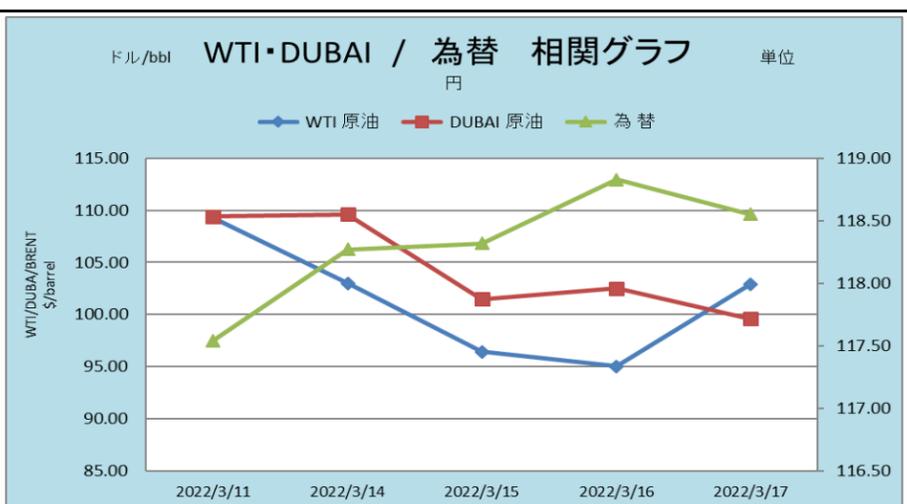
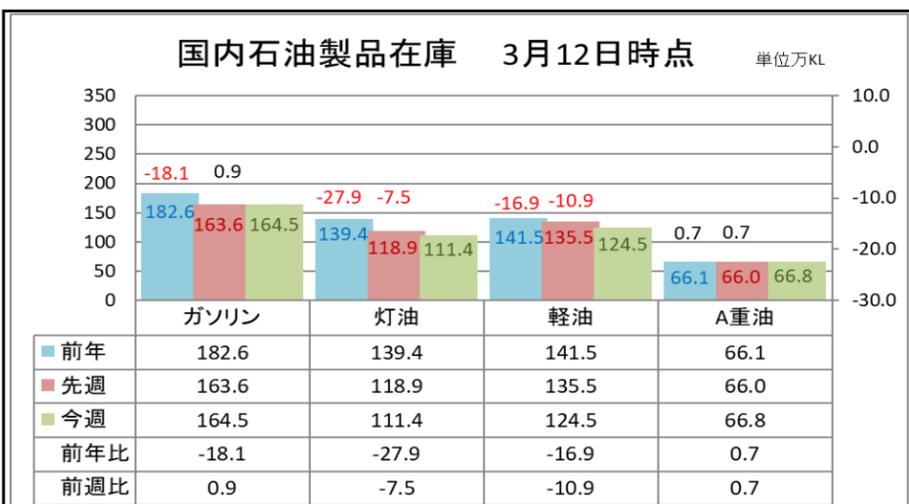
イデックスオイルレポート ~For a week~

2022/3/18作成 (株)新出光

【概況】<ロシア・ウクライナ停戦交渉による原油下落>

- 11日、ウクライナ情勢の影響で世界のエネルギー供給に不透明感がくすぶる中、プーチン大統領がベラルーシのルカシェンコ大統領とモスクワで会談しウクライナ停戦交渉に関して前向きな進展があったと報じられ、原油供給不足への過度な警戒感が後退し一時104ドル台となりました。
- 14日、ロシア・ウクライナ両国は14日、オンライン形式で4回目の停戦交渉を再開し両国ともに前向きな発言が出ており、何らかの進展が見られる可能性があるとの期待が浮上し先安感が出てきました。一時2週間ぶりに100ドルの大台を割り込みました。
- 15日、ゼレンスキー大統領は15日の声明で、交渉に関し自らが受けた報告は「かなり良い」と評価し、進展への期待を示しました。またイラン核合意の再交渉について、妥結が不可能となった場合「外交的代替案」を模索する考えを示しイラン産原油が市場に回帰するとの思惑につながり、売り圧力となった面もありWT原油は、96ドル台へ続落しました。
- 16日、ニューヨーク商業取引所の原油先物相場が続落しました。米エネルギー情報局(EIA)が発表した原油在庫が430万バレル増と市場予想より大幅な積み増しとなったことを受けて売りが加速しました。
- 17日、ウクライナへの軍事侵攻を受け欧米が経済制裁を課しているロシアの産油量が4月以降日量300万バレル減少する可能性があるとして分析し、ニューヨーク商業取引所は4営業日ぶりに反発しWT原油は、102.98ドルへ上昇しました。

3月18日 | 17:00現在 | WTI原油 | 105.41ドル | 為替 1ドル | 119.69円



	次回元売変動予測	
	3/24~	元売変動予測
ガソリン	➡	-1.9~-2.9
灯油	➡	-1.9~-2.9
軽油	➡	-1.9~-2.9
A重油	➡	-1.9~-2.9
LSA	➡	-1.9~-2.9

【製品卸価格】<月間玉販売開始>

《今週》今週の元売り仕切り改定は3社ともに原油コスト「+4.5円」、補助金「-25.0円」となり、実質「-2.8円」の値下げ改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの14日時点の小売価格平均は175.2円となっております。今週は、元売月間玉や市況連動玉を所有する業者が市況を形成し積極的に枠消化を進めています。

《3月19日以降》次回の元売り改定は、現状で原油コスト「-8.5円~-9.5円」の値下げ改定予測で、激変緩和補助金は「-18.4円」の見込みで、都合「-1.9円~-2.9円」の値下げ改定の予測となっています。月間玉を所有している業者は、23日の水曜日までの補助金が25円出ている間に枠を消化しようと販売を強化しており、また原油価格下落により次回改定が下がる予測もあるため、市況連動玉を保有する業者も参戦し販売競争がさらに激化しています。また、気温上昇に伴い灯油の需要が停滞する為、枠消化が進んでいない業者間同士の販売競争もさらに激化してくるものと思われます。

※原油コスト「-8.5~-9.5円」
 激変緩和補助金「-18.4円」
 ※現時点での予測です。

【次世代エネルギー】<アンモニア燃料:世界に先駆け貨物船開発へ>

住友商事様が世界に先駆け、アンモニア燃料貨物船の開発に乗り出しました。脱炭素に向けアンモニア燃料船が現実味を帯びてき船の建造だけでなく、アンモニアのサプライチェーン構築を目指すと示されております。同社グループである大島船所と共同で、世界に先駆けてアンモニア燃料バルカー(バラ積み貨物船)船形は8万重量トン型を2025年中の竣工を目指し排出量の削減に寄与するとの事です。また同社はアンモニアやメタノール、バイオ燃料の活用に向けた検討を実施し、水素事業部を中心にGHG(温室効果ガス)を削減しゼロエミッションを実現すると、社を挙げた大きなプロジェクトになると表明しています。

[出典]

① https://merkmal-biz.jp/post/5344?utm_source=auone.ip&utm_medium=referral&utm_campaign=feed&utm_content=6674_4